

印刷物と印刷用紙のサイズには、多くの種類があります。

## 1. 印刷物の規格サイズ

印刷物のサイズは、断裁次第で自由に大きさを決めることができますが、日本工業規格（JIS）では、用紙から無駄のない紙取りができるサイズが提案されています。私たちが日常的に使う「A4」とか「B5」というサイズは、このJISの規格によったものです。JISで定められたサイズには、国際的な規則に沿ったA列と、日本伝統の用紙サイズを取り入れたB列の2系列があります。これらの規則に沿った判型を、一般的に「定型サイズ」とよびます。A列・B列いずれも、0番から10番までのサイズが決められており、0番の長辺を半分に切ると1番のサイズ、さらにその長辺を半分に切ると2番のサイズというように、番号が1つ増えると前の番号のちょうど半分の面積になるという特徴があります。これは、短辺と長辺の長さの比率が1： $\sqrt{2}$ に規定されているためです。また、A列の0番は約1㎡、B列の0番は約1.5㎡という面積で、同じ番号の紙の面積は常に1：1.5（A列：B列）の比率になるという特徴もあります。

A列の規格サイズ

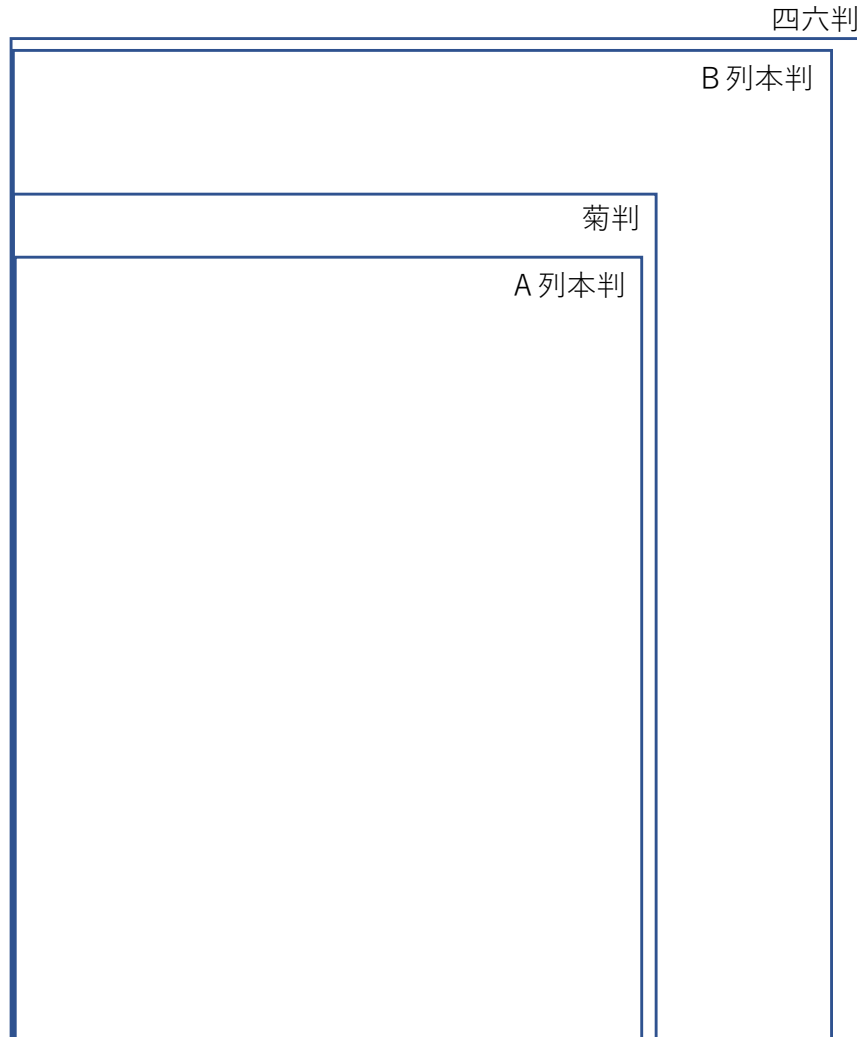
判型	サイズ (mm)	用途
A 0	841 × 1,189	倍判ポスター
A 1	594 × 841	ポスター
A 2	420 × 594	ポスター
A 3	297 × 420	ポスター
A 4	210 × 297	ファッション誌・地図
A 5	148 × 210	書籍・教科書
A 6	105 × 148	文庫本・はがき
A 7	74 × 105	手帳・ポケット辞書

B列の規格サイズ

判型	サイズ (mm)	用途
B 0	1,030 × 1,456	倍判ポスター
B 1	728 × 1,030	ポスター
B 2	515 × 728	ポスター
B 3	364 × 515	車中中吊りポスター
B 4	257 × 364	グラフ誌・美術書
B 5	182 × 257	事典・週刊誌
B 6	128 × 182	単行本
B 7	91 × 128	手帳

## 2. 印刷用紙のサイズ

日本工業規格（JIS）で定められた用紙サイズの中でも、A列本判、菊判、B列本判、四六判の4つのサイズが印刷物では多く使われています。A列本判・菊判はA1判よりやや大きめのサイズで、A列の仕上り寸法の印刷物への使用に適しています。同様にB列本判・四六判はB1判よりやや大きめのサイズになっていて、これはB列の仕上りサイズの印刷物に適しています。



種別	サイズ (mm)	用途
四六判	788 × 1,091	単行本・雑誌
B列本判	765 × 1,085	書籍・雑誌
菊判	636 × 939	文芸書・雑誌
A列本判	625 × 880	書籍・雑誌
ハトロン判	900 × 1,200	包装紙

種別	サイズ (mm)	
L判	800 × 1,100	
K判	640 × 940	650 × 950
M判	730 × 1,000	
F判	650 × 780	
S判	730 × 820	